

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校読売自動車大学校
設置者名	学校法人読売理工学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備学科	夜・通信	1827	160	
	1級整備学科	夜・通信	3484	320	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表

https://yccm.ac.jp/guidance/kamoku_ichiran.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校読売自動車大学校
設置者名	学校法人読売理工学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表

<https://yccm.ac.jp/guidance/yakuin2019.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	トヨタ財団顧問・元文 部科学大臣	2018. 6. 14～ 2020. 6. 13	教育行政に精通し た立場からの教育 目標、教育内容のチ ェックおよび提言
非常勤	読売新聞東京本社取 締役副社長関連企業 担当	2019. 5. 23～ 2020. 6. 13	法人運営に係わる 指導およびガバナ ンスの点検
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校読売自動車大学校
設置者名	学校法人読売理工学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>					
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各教科担当者が授業実施前までに、教務委員会にシラバスを提出し、授業においてシラバスの内容を学生に説明してから授業を展開している。</p>					
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公開</p> <p>https://yccm.ac.jp/guidance/syllabus_1.pdf</p> <p>https://yccm.ac.jp/guidance/syllabus_2.pdf</p> <p>https://yccm.ac.jp/guidance/syllabus_3.pdf</p> <p>https://yccm.ac.jp/guidance/syllabus_4.pdf</p>				
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>					
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「読売自動車大学校細則」に規定</p> <p>第10条 各科目の成績は、定期または随時に行う試験及びレポート・作品その他に基づいて、それぞれの科目担当教員が認定する。</p> <p>(1)各教科の評価が60点以上でもその教科の出席率が規定に満たないものは不合格となるため、担当教員の指示に従わなければならない。</p> <p>(2)実習の評価は、実習試験点、実習レポート点、実習態度点を加算して行う。各々の比率は、実習試験50% (所定の時間にて、実技を中心として行う)、レポート30% (実習中の課題をまとめる)、態度20% (実習に取り組む姿勢があるか)をもって評価する。</p> <p>(3)各教科の評価には出席率及び学習態度を考慮することができる。</p> <p>(4)各教科の単位認定と評価評定は、別表の通りとする。</p>					
判定	単 位 認 定				不合格
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
評定	秀	優	良	可	不可

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>支援対象者の成績要件判別規定</p> <p>1. 成績順位が、下位4分の1でないこと。下位4分の1の対象者に対して指導する。</p> <p>2. 判定方法は以下の通りとする</p> <p>(1) 成績処理システムの「学年計」(各教科の素点合計。ただし、単位未取得者の素点は0としている)をもとに、年2回の期末試験終了後に各教科の素点合計が多い順に順位をつけ、下位4分の1でないこと。</p> <p>(2) 判定資料として、「成績順位一覧表」と「素点合計の度数分布表」を作成し、判別の明確な根拠をとし、1年間保存しておく。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表</p> <p>https://yccm.ac.jp/guidance/seiseki.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「読売自動車大学校細則」に規定</p> <p>第11条 進級・卒業の認定は、出欠及び成績の状況に基づいて、校長の招集する学科長会議において行う。</p> <p>第12条 進級・卒業の認定は、次に定める進級・卒業基準に基づき、指定する科目を修得していなければならない。</p> <p>(1) 進級、卒業基準を満たすためには、必修科目をすべて修得しなければならない。</p> <p>(2) 自動車整備学科</p> <p>○卒業基準を満たすためには、1・2年次(二級課程)の2年間で学科600時間以上、実習1,200時間以上を修得しなければならない。</p> <p>(3) 1級整備学科</p> <p>○卒業基準を満たすためには、3・4年次(一級課程)の2年間で1800時間以上かつ学科280時間以上、実習465時間以上、実務実習750時間以上をそれぞれ修得しなければならない。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表</p> <p>https://yccm.ac.jp/guidance/sotugyo_sinkyu.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校読売自動車大学校
設置者名	学校法人読売理工学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://yccm.ac.jp/guidance/bs_2018.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 https://yccm.ac.jp/guidance/jigyokatudou_2018.pdf
財産目録	ホームページにて公表 https://yccm.ac.jp/guidance/zaisan_2018.pdf
事業報告書	ホームページにて公表 https://yccm.ac.jp/guidance/jigyohoukoku_2018.pdf
監事による監査報告（書）	ホームページにて公表 https://yccm.ac.jp/guidance/kansa_2018.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報－1

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	自動車整備学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2101 単位時間/単位	742 単位時間 /単位	266 単位時間 /単位	1292 単位時間 /単位	18 単位時間 /単位	14 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
480人		287人	208人	16人	13人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要】の4.を参照
学修支援等 （概要） クラス担任が個別面談を行い、生活面・就職活動など、きめ細かく指導している。さらに、カウンセラーとして臨床心理士によるカウンセリングルームを設置しており、教員と連携した支援体制をとっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
105人 (100%)	9人 (8.6%)	78人 (74.3%)	18人 (17.1%)
（主な就職、業界等） 自動車メーカー、保険会社、自動車メーカー、独立行政法人など			
（就職指導内容） 就職担当教員による企業との連絡、学生携帯からの求人票検索体制、全員に対する就職模擬面接の実施、学内での企業説明会の実施など。			

(主な学修成果(資格・検定等))

資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
二級ガソリン自動車整備士	②	120人	119人
二級ディーゼル自動車整備士	②	120人	117人
低圧電気特別講習	③	125人	116人
保険募集人資格	③	67人	35人

※①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの。

②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの。

③その他(民間検定等)

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
274人	32人	11.7%

(中途退学の主な理由)

経済的な事情による退学、健康上の理由により出席率が低下したことによるもの、学力不足によるものなど。

(中退防止・中退者支援のための取組)

補講授業による学習支援を実施。担任による生活指導、個人面談の他に、臨床心理士によるカウンセリングを行っている。

①学科等の情報－2

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	1級整備学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4133 単位時間/単位	979 単位時間 /単位	428 単位時間 /単位	2982 単位時間 /単位	28 単位時間 /単位	14 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		72人	4人	16人	13人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要】の4.を参照
学修支援等 （概要） クラス担任が個別面談を行い、生活面・就職活動など、きめ細かく指導している。さらに、カウンセラーとして臨床心理士によるカウンセリングルームを設置しており、教員と連携した支援体制をとっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	26人 (96.3%)	1人 (3.7%)
（主な就職、業界等） 自動車ディーラー、保険会社、自動車メーカー、独立行政法人など			
（就職指導内容） 就職担当教員による企業との連絡、学生携帯からの求人票検索体制、全員に対する就職模擬面接の実施、学内での企業説明会の実施など。			

(主な学修成果(資格・検定等))

資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
一級小型自動車整備士	②	27人	16人
職業訓練指導員	③	15人	6人

※①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの。

②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの。

③その他(民間検定等)

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83人	5人	6.0%

(中途退学の主な理由)

経済的な事情による退学、健康上の理由により出席率が低下したことによるもの、学力不足によるものなど。

(中退防止・中退者支援のための取組)

補講授業による学習支援を実施。担任による生活指導、個人面談の他に、臨床心理士によるカウンセリングを行っている。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車整備学科	200,000 円	460,000 円	540,000 円	初年度納付金 その他 施設・維持費、実習費
1 級 整備学科	200,000 円	460,000 円	540,000 円	初年度納付金 その他 施設・維持費、実習費
修学支援 (任意記載事項)				
①小林與三次記念育英奨学金、②読売理工学院学費支援、③1 級整備学科特待生などの本校独自の奨学金制度等あり				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yccm.ac.jp/guidance/check_summary2018.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検評価の客観性と透明性を高めことを目的に評価結果の公表を行う。また、自動車整備関連業界、卒業生、保護者等の学校と密接に関係する者に対し、本校教育課程の内容への理解を促進し、継続的な連携協力体制の維持を図るために「学校関係者評価委員会」を設置し、当委員会の意見を学校運営等の改善のために活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社関東マツダ人財開発部人財開発グループ 主幹	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	企業
亀戸二丁目町会 会長	同上	地域
読売自動車大学校同窓会 会長	同上	卒業生
1 級整備学科 2 年 保護者	同上	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yccm.ac.jp/guidance/kankeisyahyouka29.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

https://yccm.ac.jp/guidance/katudou-unnei_reiwal.pdf